



南越前町高齢者交通安全大会
交通事故、遭いません。起しません。

7月27日、南条地区公民館で、南越前町高齢者交通安全大会が開かれ、110人が参加しました。この大会は、4月27日に南越前町が「交通死亡事故非常事態」を宣言したことをうけ、高齢者の交通安全意識を高めることにより痛ましい交通事故の発生を防止しようとして行われました。南越前町老人クラブ連合会の南保会長が「事故に遭わない、起さない」ことを宣言。越前交通安全協会からステッカーが贈呈されたほか、交通安全講習が行われ、参加者らは交通安全を誓いました。



華麗なるクラシックバレエ・ハイライト
魅力満載 美しきうつつとろ

7月30日、南条文化会館で、華麗なるクラシックバレエ・ハイライトが上演されました。この公演は、宝くじの収益金から助成を受けて行われ、通常よりも安い特別料金で華麗な舞台を鑑賞できるとあって、約400人が詰め掛けました。

芸術の都ロシアのサンクト・ペテルブルグで活躍するダンサーたちが「白鳥の湖」や「眠りの森の美女」、「くるみ割り人形」など有名古典バレエのハイライトを次々と披露。訪れた人たちは、ダンサーたちの卓越したテクニックと美しい演技にうっとり見とれ、それぞれの演目が終わるたびに大きな拍手を送っていました。



魚と運動会
真剣勝負！逃げる魚と追う人間

8月2日、南越前ダイビングパークで河野観光協会主催による魚と運動会が開かれ、県内外からたくさんの人たちが参加しました。ダイビングパークのプールに放たれたのは、タイ・アジ・ツバスなど約600匹の魚たち。参加者らは、専用の軍手と網を手にもって、中を素早く泳ぐ魚たちを必死で追いかけてました。魚の数が少なくなると捕まえるのも一苦労。見知らぬ参加者同士が、一列に並び魚をプールの端に追い込んで協力して捕まえる連携プレーも見られました。捕まえた魚は、ピチピチバタバタとクーラーボックスのフタを押し開ける威勢の良さ。元気で大きな魚を捕まえ大人も子どもも大満足の一日でした。



ホノケ山トンネル(仮称)工事現場見学会
トンネル工事のしるし

8月8日、ホノケ山トンネル(仮称)奥野々工区工事現場見学会が行われ、奥野々、上別所、鯖波の3区から約40人が参加しました。トンネル工事の概要や流れ、ダンプロックなどの大きな建設機械について説明を受けた後、いよいよトンネルの中へ。約130m掘り進められたトンネル内では、山に小さな穴を開け、山の状態を調査するカメラで、実際に山の中を見たり、日本に2台しかないロードヘッダーという掘削機械を見学しました。参加者らは「すごく大きな機械を使うんですね」、「貴重な工事現場を見ることができてよかった」と感動していました。



交通安全マレットゴルフ大会
交通安全特別ルールで楽しくプレー

8月1日、交通安全協会南越前町支部南条分会主催の交通安全マレットゴルフ大会が、レインパーク南条マレットゴルフ場北コースで開かれ、65人が参加しました。

この大会は、マレットゴルフを通して、交通ルールの理解と交通安全意識を高めてもらうと行われたものです。コースには、一時停止などの交通安全にちなんだ特別ルールが設けられました。参加者らはシートベルトに見立てた反射材のついたタスキをかけ、交通ルールを再確認しながら、楽しくプレーしていました。



南条商工天の川フェスタ
華やか七夕飾り、イルミネーション

8月1日、JR南条駅前で七夕をテーマにした町商工会主催の南条商工天の川フェスタが開かれ、大勢の家族連れらでにぎわいました。

会場には、流しそうめんやかき氷、イカ焼きなどの模擬店20店余りが出店。高さ約10mの鮮やかな大七夕飾りが、さらさらと風に揺れ涼感を演出しました。また、ユニークなパフォーマンスが笑いを誘う恒例の仮装夢口マンコンテストや盆踊り、歌謡ショーなどが繰り広げられ、まつりを盛り上げました。

日没後には町内の団体、企業などが工夫を凝らし飾り付けたイルミネーションが点灯。きれいな光で彩られた会場は幻想的な雰囲気になりました。



ウォーターランド南条納涼祭
プールで熱戦…水辺で祭り…夏夜楽しくにぎわいました。

プールとウォーターランド周辺では、水泳と長距離走を組み合わせて合計タイムを競うアクアスロン大会が初めて開催され、ジュニアの部に11人、一般の部に8人が参加。熱い戦いを勝ち抜いた入賞者は、練習の成果を発揮できたようで「何も言えねえ〜!」と喜んでいました。また、屋外には、焼き鳥などの模擬店が出店されたほか、ウォーターランドスタジオ教室の生徒らによるダンスや南条中学校和太鼓部の演奏などが披露され、訪れた人たちは夏の夜を楽しく過ごしました。



ヒラメ稚魚放流
大きくなっつ、河野の海に帰っついで!!

8月10日、河野海水浴場で河野保育園の園児らが、ヒラメの稚魚を放流しました。

安定した漁獲量を確保するため、河野地区栽培漁業推進協議会が放流した稚魚は、河野甲楽城、糠の3箇所合計約4万4千匹。園児らは、バケツに入った小さなヒラメを見て「小さくてかわいいよ」、「一匹だけ変わった色をしているよ」とうれしそう。体長10センチほどに成長した稚魚を「元気に育ってね」、「大きくなったら、河野の海に帰ってきてね」とバケツから、そっと海に放ちました。放たれた稚魚は、2〜3年ほどかけて大きな魚に成長します。